

学校沿革の概要

明治	9年	本山尋常小学校が東光寺に設置された。
	42年	現在地に建てられた。
大正	2年	組合高等小学校が廃止された。
昭和	38年	特別支援学級が設置された。
	40年	屋内体育館が建築された。本山小・木能津小・帰全小の三校が統合して、本山小学校が発足した。(9月1日名目統合)
	41年	スクールバス通学が始まった。(実質統合)北校舎が新築された。
	42年	プール竣工
	46年	白髪小学校が統合された。
	51年	改築・新校舎が落成した。(東西校舎) 創立百周年記念行事を行う。
	52年	郷土資料館開館
	54年	第26代校長「高尾広一」高知市立横浜小学校へ転出。第27代校長「浜渦春陽」となる。
	55年	高知県教育委員会指定同和教育研究発表会を実施した。
	57年	交通安全表彰を受ける。
	58年	第27代校長「浜渦春陽」退職し、第28代校長「高石興教」となる。
	61年	第28代校長「高石興教」退職し、第29代校長「泉 明夫」となる。
	63年	屋内運動場落成。第29代校長「泉明夫」退職し、第30代校長「上村孝澄」となる。
平成	4年	第3学年児童増により2学級編制となる。県指定社会福祉活動推進校(3カ年)。
	5年	小・中連携教育推進地域県指定(2カ年)となる。各学年1学級となり6学級編制。
	6年	特別支援学級が設置され、7学級編制となる。第30代校長「上村孝澄」退職し、第31代校長「荻谷貴顕」となる。
	8年	「環境教育に関する研究推進校」指定を受ける。
	9年	第31代校長「荻谷貴顕」退職し、第32代校長「西岡 博」となる。
	10年	文部省指定「豊かな心を育む教育推進事業」を受ける。(2カ年)
	12年	児童数(170名:5/1現在)
	13年	第32代校長「西岡 博」南国市立久礼田小学校へ転出。第33代校長「高石昭博」となる。TT加配並びに時間講師(1年間)が配置される。
	14年	第33代校長「高石昭博」本山町立本山中学校へ転出。第34代校長「近藤好和」となる。特別支援学級が2学級新設され9学級になる。
	15年	第34代校長「近藤好和」高知市立御畳瀬小学校へ転出。第35代校長「西森浩三」となる。特別支援学級が1学級新設され10学級となる。
	16年	児童数(135名:5/1現在)10学級編制
	17年	特別支援学級が1学級減となり、9学級編制となる。ボランティア活動の功績により厚生労働大臣感謝状を受賞する。
	18年	児童数(120名:5/1現在)
	19年	第35代校長「西森浩三」大豊町立大杉小学校へ転出。第36代校長「石丸雄三」となる。児童数(112名:5/1現在)9学級編成
	20年	児童数(107名:5/1現在)8学級編成
	21年	第36代校長「石丸雄三」退職し、第37代校長「楡金美彦」となる。文部科学省読書活動優秀実践校の表彰を受ける。校舎を耐震並びに大規模改修を行う。西屋外便所周辺の改修工事を行う。児童数(106名:5/1現在)7学級編成
	22年	児童数(106名:4/1現在)7学級編成
	23年	第37代校長「楡金美彦」退職し、第38代校長「中野孝司」となる。プール竣工。児童数(106名:5/1現在)9学級編制
	24年	児童数(109名:5/1現在)9学級編制
	25年	児童数(111名:4/1現在)9学級編制
	26年	児童数(103名:4/1現在)10学級編制
	27年	児童数(101名:4/1現在)10学級編制。運動場を全面改修。
	28年	児童数(93名:5/1現在)特別支援学級が1減となり9学級編成。正門を全面的に改修。西門に掲示板を設置。運動場に遊具設置。
	29年	児童数(89名:4/1現在)
	30年	児童数(102名:4/1現在)第38代校長「中野孝司」退職し、第39代校長「上村博明」となる。
	31年	児童数(94名:4/1現在)

令和 2年 児童数(103名：4／1現在)